

210名の参加者がありました。

講座の最後に、チャットを用いて質問を受け付けました。回答した内容は、次の通りです。

Q 当時、田山花袋のガイドを見て小旅行に出かけた人は多かったのでしょうか。

A 正確には把握していませんが、多かっただろうと思います。この時期に、同様のガイドブックが多く刊行されています。鉄道整備により、旅行ブームの時期でもありました。

Q 田山花袋の時代の三郷駅付近はどんな感じだったのでしょうか。

A 詳しくは分かりませんが、講座の中で示した、昔の地形図と対照できるサイトを活用してはいかがでしょうか。例えば、三郷市には早稲田というところがありますが、早期に稲刈りを行う田んぼだったからです。低湿地なので、水害を受けやすい地域であり、早くに稲を刈り取る必要があったのです。

Q 鳩ヶ谷は別荘地とありましたが、だれが訪れたのでしょうか。

A 詳しくは分かりませんが、東京に住んでいた人が、この辺りに別荘を持つ例があったようです。一例をあげれば、浦和には(建設関係の)鹿島別荘があり、今でも残っています。

Q 田山花袋の書には松伏に「まつぶせ」とかなが振られています。現在、「まつぶし」となっているようですが、この辺の事情はいかがでしょうか。

A 地元と他地域では、認識が違うことがあります。漢字で書いた場合、どのように読むかは分からないからです。地元の人には「まつぶせ」と言うこともあります。ほかにも、越谷を「こしが(げ)い」、鳩ヶ谷を「はとが(げ)い」と言う例があります。他の例でも、見沼代用水には、東縁(ひがしべり)と西縁(にしべり)がありますが、刊行物の例で東縁(ひがしぶち)、西縁(にしぶち)と書かれていることがあります。

Q 浦和のあたりまで海があったのでしょうか。

A その通りです。縄文時代は、海でした。川口市の安行地区にも貝塚という地名があり、大宮台地の縁までが海でした。

Q 河口停車場って何ですか。

A 現在の川口駅です。以前は、このように(「河口」と)書いていました。

この他に、寄せられた意見は次の通りです。

当日はお答えしていませんが、コメントします。

・講座の案内に「埼玉県東南部の風土」とありますが、趣旨についてもう少し掘り下げてほしい。  
可能ならば、変遷についても触れて欲しい。

(担当者の回答)

今回は概論的なことを想定していました。今後、講座の内容に生かしていきます。

・講座で使用されたパワーポイントの資料はいただくことは可能でしょうか。

(担当者の回答)

今回はお渡しすることを想定していませんでした。